

## 医学研究センター

## 医学研究センター

片桐 岳信  
(センター長)

## 1. 構成員

## ◇センター長

片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : センター長 (任期: R7.7.31)

## ◇副センター長

小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 副センター長 (任期: R7.7.31)

## ◇部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)

海老原康博 (EBIHARA, Yasuhiro) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)

※片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : 共同利用施設運営部門 (任期: R7.3.31)

※小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 研究支援管理部門 (任期: R7.3.31)

三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (任期: R7.3.31)

三輪 尚史 (MIWA, Naofumi) : フェローシップ部門 (任期: R7.3.31)

椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio) : 研究評価部門 (任期: R7.3.31)

## ◇副部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)

百瀬 修二 (MOMOSE, Shuji) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)

下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)

横田 和浩 (YOKOTA, Kazuhiro) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)

横尾 友隆 (YOKOO, Tomotaka) : 共同利用施設運営部門 (任期: R7.3.31)

堀内 大 (HORIUCHI, Yutaka) (任期: R7.3.31)

※三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (DNA分野) (任期: R7.3.31)

米田 竜馬 (YONEDA, Ryoma) : 安全管理部門 (DNA分野) (任期: R7.3.31)

村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 安全管理部門 (感染分野) (任期: R7.3.31)

奥田 晶彦 (OKUDA, Akihiko) : 安全管理部門 (薬物・廃液等環境分野) (任期: R7.3.31)

森 隆 (MORI, Takashi) : 安全管理部門 (動物分野) (任期: R7.3.31)

西本 正純 (NISHIMOTO, Masazumi) : 安全管理部門 (RI分野) (任期: R7.3.31)

徳元 康人 (TOKUMOTO, Yasuto) : 研究評価部門 (任期: R7.3.31)

## ◇ランチ長 (医学研究センター運営会議規則第3条3号構成員)

※小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 毛呂山ランチ担当 (任期: R7.3.31)

山本 晃士 (YAMAMOTO, Koji) : 総合医療センターランチ担当 (任期: R7.3.31)

※海老原康博 (EBIHARA, Yasuhiro) : 国際医療センターランチ担当 (任期: R7.3.31)

※下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 保健医療学部ランチ担当 (任期: R7.3.31)

※は重複構成員…計18名

## ◇オブザーバー

竹内 勤 (TAKEUCHI, Tsutomu) : 学長

森 茂久 (MORI, Shigehisa) : 副学長, 医学部長

高橋 健夫 (TAKAHASHI, Takeo) : 副学長

千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : リサーチアドミニストレーションセンター センター長

菅原 哲雄 (SUGAHARA, Tetsuo) : リサーチアドミニストレーションセンター 講師

佐藤 勝茂 (SATO, Katsushige) : リサーチアドミニストレーションセンター 課長

町田 早苗 (MACHIDA, Sanae) : 医学研究センター 講師

別所 和博 (BESSHO, Kazuhiro) : 医学研究センター 助教

福田枝里子 (FUKUDA, Eriko) : 医学研究センター 助手

## ◇事務局

下田 裕子 (SHIMODA, Yuko) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課 課長

佐國 真紀 (SAKUNI, Maki) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課

## 2. 目的・目標

医学研究センターは、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規定第2条に則り、本学の医学研究を円滑かつ効果的に行い、教育研究上の目的を達成するための基盤整備を図るとともに、当該研究活動に必要な企画立案、管理運営その他の研究支援を統括・推進し、もって本学の研究活動の質的向上、および研究成果の社会への還元に資することを目的とする。

今年度も、本学の研究活動の向上を目指して、全学的なソフト面とハード面での支援を充実させる。また、リサーチアドミニストレーションセンターと協力し、公的競争的研究資金として科研費（文部科学省、日本学術振興会）の申請支援も充実させる。

医学研究センターの目的を達成するために、以下に示す6つの部門で構成され、各部門が異なる視点から本学の研究を支援する。

- 1) 研究主任部門：基本学科と医学研究センターの情報共有に関わる。
- 2) 共同利用施設運営部門：各種共同利用施設の運営に関わる。
- 3) 研究支援管理部門：外部資金獲得の支援や学内グラントに関わる。
- 4) 安全管理部門：DNA、感染、薬物、環境、動物、RIなど、研究活動における安全管理に関わる。
- 5) フェローシップ部門：大学院生以上助手未満への経済的支援に関わる。
- 6) 研究評価部門：研究活動の内部評価や外部評価に関わる。

各部門内で会議を適宜開催し、毎月1回、全キャンパス両学部から選出された構成員からなる医学研究センター運営会議を開催して、全体の活動を共有している。運営会議の内容は、教員代表者会議と保健医療学部教授会で報告され、本学全体に共有される。

## 3. 活動実績

令和6年度は、各部門において以下のような活動を行った（それぞれの詳細は、各部門の活動報告を参照）。

- 1) 研究主任部門：各基本学科の研究主任を介した連絡体制の構築を検討した。第28回学内グラント成果発表会を令和6年7月26日に開催し、第29回学内グラント成果発表会を令和7年3月28日に開催した。
- 2) 共同利用施設運営部門：共同利用施設運営部門の構成員を見直し、全学的な意見を議論できる体制を整えた。共同利用実験施設利用内規を改正し、管理・運営と庶務の担当を明確化した。原則的に毎月、共同利用施設運営部門会議、および医学部中央研究施設運営会議をそれぞれ開催し、研究機器・備品の整備を行った。
- 3) 研究支援管理部門：リサーチアドミニストレーションセンターと共に、科研費アドバイザー制度を始めとする科研費申請支援を検討・実施した。論文剽窃検知ソフト iThenticate の運用・管理を担当した。グラント選考委員会が令和6年4月25日に開催した令和6年度学内グラント選考委員会において、各課題の集計等を担当した。
- 4) 安全管理部門：部門内の5分野でそれぞれ活動を行った。DNA分野では、組換えDNA使用実験に関する審査・承認を行い、講習会を実施した。感染分野は、病原体等取扱申請書を審議し、BSL2とBSL3実験施設の査察を行った。また、病原性微生物の保有状況、BSL2、BSL3の保有状況を確認し、文部科学省へ報告した。薬物・廃液等環境分野では、令和6年度研究用麻薬・向精神薬に関する調査・報告を行うと共に、実験廃液と廃棄物の処分を専門業者に依頼した。動物分野では、本学動物実験委員会のあり方の見直しを行うと共に、動物実験計画書の審査・承認を行った。RI分野では、令和6年度の新規および継続RI取扱希望者を対象とした教育訓練を実施すると共に、令和6年12月24日に実施された原子力規制庁による立入検査に対応した。
- 5) フェローシップ部門：2025年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金を募集・選考し、その結果を上程した。

- 6) 研究評価部門：研究業績データベースシステムを管理・運用し、学内の各部署への情報提供、新世代研究基盤リサーチマップ（researchmap）とのデータ交換を行った。令和7年3月現在、本システムには医学部と保健医療学部をあわせて1,442名の研究者が登録されている。

#### 4. 自己評価と次年度計画

##### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

令和6年度も、本学の研究活動の向上と研究成果の社会への還元を目指して、全学的なソフト面とハード面での研究支援を概ね計画通り実施できた。しかし、一部はさらなる検討、対応が必要であることが明らかとなった。

全学的な研究連絡の目的で、研究主任部門からメーリングリストを介して研究主任宛に一斉通知を行った。しかし、研究主任に連絡が届いていない例が発生し、管理するメーリングリストの不備が考えられた。計画通り、学内グラント受賞者による成果発表会を2回開催した。共同で利用する研究機器や設備、実験室等の管理・運営体制を検討し、内規の改正を含めた研究環境の改善に取り組んだ。「科研費アドバイザー制度」についてアンケートを実施し、申請者とアドバイザー担当者のどちらにも好評であることを確認した。しかし、令和7年2月末日に発表された令和7年度科研費の採択件数、採択率、採択金額が大幅に低下した。計画の通り、研究計画の安全管理に関して審議・承認を行った。急遽実施された原子力規制庁の立入検査にも適切に対応した。計画通り、埼玉医科大学私費外国人留学生奨学金候補者を選考したが、一名は辞退となった。計画通り、研究業績データベースを管理・運用し、人事考課やresearchmapを介した研究評価に利用できた。

##### 4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

令和7年度も、本学の研究活動を促進するために、全学的なソフト面とハード面での研究支援に取り組む。特に重点的に取り組む課題として、以下を計画する。(1) 研究主任部門の運営と研究主任との連絡体制の再検討、(2) 共同利用施設に関する事務組織も含めた検討体制の構築、(3) 動物実験の外部検証に向けた準備、(4) 科研費アドバイザー制度の充実を含めた科研費等の公的競争的研究費の分析と対策検討、(5) 学内グラント成果発表会のあり方の再検討、(6) 研究業績データベースの充実。また、本学両学部教員による埼玉医科大学医学会とも連携し、本学全体の研究力向上を目指す。

## 医学研究センター

## 研究主任部門

海老原 康博  
(部門長)

## 1. 構成員

部門長 海老原康博 (EBIHARA Yasuhiro) : 国際医療センター中央検査部: 教授 (任期: R7.3.31)  
副部門長 下岡聡行 (SHIMOOKA Toshiyuki): 保健医療学部医用生体工学科: 教授 (任期: R7.3.31)  
横田和浩 (YOKOTA Kazuhiro) : 大学病院リウマチ膠原病科: 准教授 (任期: R7.3.31)  
百瀬修二 (MOMOSE Shuji) : 総合医療センター病理部: 教授 (任期: R7.3.31)  
部門員 町田早苗 (MACHIDA Sanae) : 医学研究センター: 講師  
医学部の全基本学科及び保健医療学部の各学科研究主任

## 2. 目的・目標

本部門は、埼玉医科大学医学研究センター規程第3条により構成され、第9条に則り、研究現場とセンターの密な連絡を保つための活動を行うことを業務としている。研究主任に対して、基本学科の研究の責任者であると同時に研究費を適正に管理・運用する責任者であることも自覚していただき、適正な運用を推進するよう働きかける。研究者向けの情報を発信し、研究主任から各所属部署内での周知徹底を依頼する。学内での共同研究が推進できるよう体制整備に努め、支援活動を行う。学内グラント成果発表会を2回/年開催し、学内の研究推進を図る。

## 3. 活動実績

## (1) 学内グラント受賞者成果発表会の企画・開催

## ア 第28回学内グラント受賞者成果発表会

2024年7月26日(金) 17:00~18:10

カタロスタワー1F クロードベルナルホール (毛呂山キャンパス)

\*ZOOMとのハイブリッド開催・ビデオ収録配信

プログラム内容

1. 開会挨拶 森 茂久 医学部長・副学長

2. 成果発表

演題1: 座長: 茅野 秀一 (保健医療学部 臨床検査学科)

小野 公嗣 (保健医療学部 臨床検査学科)

「脾臓全体の血管網可視化を目指した血管内皮細胞イメージング法の確立」

(2023年度科研費申請支援)

演題2: 座長: 前田 卓哉 (医学部 埼玉医科大学病院 臨床検査医学)

関 雅文 (医学部 国際医療センター 感染症内科・感染制御科)

「With コロナ時代のSARS-CoV-2以外のウイルス診断と診療・制御の重要性」

(2023年度科研費申請支援)

演題3: 座長: 横田 和浩 (医学部 埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科)

野木 武洋 (医学部 埼玉医科大学病院 麻酔科)

「全身麻酔がインフルエンザワクチン接種による免疫の獲得に対して及ぼす影響の検討」

(2023年度科研費申請支援・2024年度科研費採択奨励費)

演題4: 座長: 植松 和嗣 (医学部 総合医療センター 呼吸器内科)

難波 文彦 (医学部 総合医療センター 小児科)

「新生仔肺特異的KOマウスを用いた肺発達・肺傷害修復におけるHAPLN1の役割」

(2022年度科研費申請支援・2023年度科研費採択奨励費)

3. 閉会の辞 小谷典弘 医学研究センター副センター長

参加人数: 合計114名

会場参加者 29名 Zoom参加者 85名

## イ 第29回学内グラント受賞者成果発表会

2025年3月28日(金) 17:00~18:10

カタロスタワー1F クロードベルナルホール(毛呂山キャンパス)

\*ZOOMとのハイブリッド開催・ビデオ収録配信

プログラム内容

1. 開会挨拶 竹内 勤 学長

2. 成果発表

演題1: 座長: 鈴木 啓介(医学部 埼玉医科大学病院 小児外科)

中村 彰宏(医学部 基礎医学部門 微生物学)

「腸管オルガノイドを用いた嫌気性細菌 *F. nucleatum* と組織恒常性維持に関する研究」

(2023年度 科研費申請支援)

演題2: 座長: 伊丹 千晶(医学部 基礎医学部門 生理学)

松本 英子(医学部 基礎医学部門 解剖学)

「発生過程の大脳皮質ニューロン軸索側枝形成における Netrin-1 と BDNF の作用」

(2023年度 科研費申請支援)

演題3: 座長: 吉田 裕之(医学部 国際医療センター 婦人科腫瘍科)

平沢 統(医学部 基礎医学部門 生理学)

「卵巣がん細胞の機能変化に関する電気生理学研究」

(2023年度 科研費申請支援)

演題4: 座長: 美山 優(医学部 国際医療センター 病理診断科)

天野 博明(医学部 埼玉医科大学病院 腎臓内科)

「尿細管上皮細胞における CCN2-integrin-FAK 経路に着目した新規腎臓病治療薬の検証」

(2023年度 科研費申請支援)

3. 閉会の辞 片桐 岳信 医学研究センター センター長

参加人数: 合計 89名

会場参加者 29名 Zoom参加者 60名

## 4. 自己評価と次年度計画

## 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

昨年度から、学内グラント受賞者成果発表会の発表者は学内グラント受賞により得た資金を使って、翌年以降に科研費を獲得できた発表者に限って発表を行なっている。内容・形式を改善し、科研費を獲得するために工夫した点も含めた発表にすることで、より多くの参加が得られ、活発な討論を展開できるように対策している。また、新型コロナウイルス感染拡大の対応によって新たに用意されたZOOM配信を導入し、学内グラント成果発表会に参加しやすい環境を取り入れた。参加人数には波があるものの、参加者の負担を減らして多くの教職員の参加を促すことに寄与していると考えられる。また、毎月行われている医学研究センター運営会議議事録(抜粋)を各研究主任に送付して情報提供を行なっている。

## 4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

今後は、全学規模で行われている「オール埼玉医大研究の日」とも連携して、多くの学内グラント受賞者に発表の機会を持っていただくよう、また、成果発表会により多くの参加が得られるようにさらなる改善を行っていく。

医学研究センター運営会議議事録(抜粋)に限らず、研究主任を通して3キャンパス内で行われている研究の内容を学内研究者に情報提供し、共同研究・研究連携を推進する。

## 医学研究センター

## 研究支援管理部門

小谷 典弘  
(部門長)

## 1. 構成員

部門長 小谷 典弘 (KOTANI Norihiro) : 薬理学 (医学研究センター) : 教授 (任期: R7.3.31)  
副部門長 堀内 大 (HORIUCHI Yutaka) : 医学部 微生物学 : 講師 (任期: R7.3.31)  
部門員 森 隆 (MORI Takashi) : 総合医療センター 研究部 : 教授  
前田 智也 (MAEDA Tomoya) : 国際医療センター 造血器腫瘍科 : 准教授  
町田 早苗 (MACHIDA Sanae) : 医学研究センター : 講師  
山本 梓司 (YAMAMOTO Shinji) : 保健医療学部 臨床検査学科 : 講師  
福田枝里子 (FUKUDA Eriko) : 医学研究センター : 助手

## 2. 目的・目標

研究支援管理部門は、医学研究センター規程第9条に則り、法人から交付される研究費の配分に関する業務、並びに公的グラントの進行に関する業務を行うことを目的とする。研究マインド醸成、学内グラント活用、学外研究費獲得の推進、研究成果の管理、リサーチアドミニストレーションセンターとの連携による研究倫理の順守呼びかけなどの活動を行い、学内研究者の研究活動の健全な実施をサポートすることを目標とする。

## 3. 活動実績

## ①学内グラントと研究奨励費の助成

2023年度学内グラント募集では、丸木記念特別賞4件、科研費申請支援グラント29件、計33件応募があった。分野別の複数選考委員による予備審査の後、グラント選考委員会が開催され、丸木記念特別賞2件、科研費申請支援グラント26件(科研費申請支援A・70万:22件、科研費申請支援B・50万:4件)の計28件の研究テーマが採択された。さらに、学内グラント採択課題が翌年、翌々年度に科研費採択(研究テーマが直接関連していることが条件)の場合に対象となる研究奨励費(20万円、購買経由使用、経費報告書必要なし)が計1件助成された。

## ②科学研究費獲得状況の把握

2024年度の科研費採択結果は、申請総数158件に対して新規採択44件(採択率27.9%)、採択総額275,300千円であった。申請総数は横ばいだが、採択率は去年より若干高い結果となった。また、採択総額は大型種目の採択があったため、過去10年で最高となった。

## ③剽窃検知ソフト iThenticate の運用

論文作成では意図せず剽窃とならないように注意が必要である。近年の論文デジタル化とインターネット普及を背景に平成25年施行の博士論文オープンアクセス化(公表義務)に伴って現在までに国内の半数近くの医学部を有する大学に導入されている剽窃検知ソフト iThenticate の運用を、研究マインド支援グラント(共通部門研究費)を用いて、平成29年度から30年度にかけて試験的に運用を始めた。現在は、リサーチアドミッションセンターからの申請により、大学経費からの支出で運用されている。なお、2019年度から大学院学位審査の際の学位論文の提出にあたって、本ソフトを使用した検知を実施することが義務化された。

## ④科研費アドバイザー制度

2020年度より、科研費採択率の向上を目指し、リサーチアドミニストレーションセンターとの共同で、科研費の全種目を対象とした新しい科研費アドバイザー制度を運用している。2024年度は、科研費審査委員や大型競争的研究資金獲得経験のある研究者を中心とした教員がアドバイザーとして登録され、利用者の研究計画調書を個別に添削した。利用件数はのべ70件で、種目の内訳は若手研究20件、基盤研究(C)36件、基盤研究(B)6件、挑戦的研究(萌芽)2件、的研究(開拓)1

件、研究活動スタート支援5件であった。

さらに、科研費の大型種目に採択された先生方を講師として「科研費申請における私の工夫」と題する講習会を2024年4月24日（水）にZoomウェビナーで実施した。7月30日には、「今年度の科研費申請に向けた講習会」をZoomウェビナーで実施した。続いて、8月6日には、科研費応募初心者を対象とした「～初めて申請してみようかな～」をZoomウェビナーで実施した。これらの3開催の受講者アンケートでは、判りやすく役に立ったなどの回答を得た。

#### 4. 自己評価と次年度計画

##### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

学内グラントと研究奨励費の助成は、例年通り、問題なく実施された。前年度と同じく、科研費の申請総数・率、採択率、採択総額の向上を目指して、科研費申請支援グラントでは、助成に加えて科研費アドバイザーによる研究計画調書のブラッシュアップを行うようにした。剽窃検知ソフト iThenticate の使用数も増え、益々重要度が上がっている。

##### 4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

学内グラントに関しては、今後もグラント選考委員会と連携しながら、守秘義務を遵守して公正な選考が継続されるよう努めていきたい。剽窃検知ソフト iThenticate に関しては、大学組織・研究者個人の信用にかかわる重要な問題として、今後も啓蒙活動を継続する予定である。「科研費アドバイザー制度」に関しては、前年度より採択額が大きく増えたことから、次年度も引き続き、効果的で利用しやすい制度に発展させていく。これらの制度を教員に利用していただき、本学の科研費申請数・申請率・採択率のさらなる向上につなげたい。

## 医学研究センター

## 共同利用施設運営部門

片桐 岳信  
(部門長)

## 1. 構成員

部門長：片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu)	：中央研究施設, ゲノム基礎医学：教授 (任期 R7.3.31)
副部門長：横尾 友隆 (YOKOO, Tomotaka)	：中央研究施設日高ランチ実験動物部門：准教授 (任期 R7.3.31)
部門員：廣澤 成美 (HIROSAWA, Narumi)	：中央研究施設機能部門：准教授 (任期 R7.3.31)
部門員：川野 雅章 (KAWANO, Masaaki)	：中央研究施設機能部門：准教授 (任期 R7.3.31)
部門員：水野 由美 (MIZUNO, Yumi)	：中央研究施設実験動物部門：講師 (任期 R7.3.31)
部門員：水野 洋介 (MIZUNO, Yosuke)	：中央研究施設形態部門：准教授 (任期 R7.3.31)
部門員：西本 正純 (NISHIMOTO, Masanobu)	：中央研究施設 RI 部門：准教授 (任期 R7.3.31)
部門員：佐藤 哲也 (SATO, Tetsuya)	：中央研究施設日高ランチ機能部門：准教授 (任期 R7.3.31)
部門員：森 隆 (MORI, Takashi)	：総合医療センター研究部：教授 (任期 R7.3.31)
部門員：椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio)	：情報技術支援推進センター：教授 (任期 R7.3.31)
部門員：横田 和浩 (YOKOTA, Kazuhiro)	：リウマチ膠原病科：准教授 (任期：R7.3.31)
部門員：小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro)	：医学研究センター：毛呂山ランチ長 (任期：R7.3.31)
部門員：海老原康博 (EBIHARA, Yasuhiro)	：医学研究センター：国際医療センターランチ長 (任期：R7.3.31)
部門員：山本 晃士 (YAMAMOTO, Koji)	：医学研究センター：総合医療センターランチ長 (任期：R7.3.31)
部門員：下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki)	：医学研究センター：保健医療学部ランチ長 (任期：R7.3.31)

## ◇オブザーバー

坂本 安 (SAKAMOTO, Yasushi)：客員教授

## 2. 目的・目標

共同利用施設運営部門は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規程第9条(4)に則り、全学的視点で研究機器材料等の情報を管理し共同利用実験室を管理・運営することにより、本学の研究を推進することを目的とする。

本年度は、副部門長として横尾友隆准教授が就任し、原則的に毎月、構成員によるメール会議を開催して共同利用施設に関する話し合いを行った。また、学内で募った設置希望機器リストから、補助金等を利用して新規の機器を導入すると共に、既に設置されている機器の整備に努めた。さらに、対面又はオンラインのテクニカルセミナーを開催し、施設を利用する研究者に対して研究機器の利用を啓発した。併せて、共同利用実験室利用内規を改正し、管理・運用体制を見直した。

## 3. 活動実績

## 1) 部門会議

## (1) 2024 (R6) 年度 第1回 共同利用施設運営部門会議

日時：2024 (令和6) 年5月27日 (月)～5月31日 (金)：メール会議 出席 15人

## 議事：

## a. 共同利用施設運営部門の運営に関する確認

主に研究施設に関する情報を共有し、全学的視点で研究力の向上に努めるために、今年度より医学研究センターの各ランチ長が共同利用施設運営部門の構成員として加わり、全学的な情報の共有を図ることとした。共同利用施設には医学部中央研究施設、総合医療センター研究部、国際医療センター教員研究棟・教育研究棟、保健医療学部実験動物施設が含まれることを確認した。

## b. 医学部中央研究施設からの議案・報告

「共同利用実験室内規の改正」について審議し、現状に即して、共同利用施設運営部門が管理運営し、医学部中央研究施設機能部門と日高ランチ機能部門が庶務を担当する形に内規を修正し承認された。

## c. 第13回 医学部中央研究施設部門会議議事録抜粋が報告された。

## (2) 2024 (R6) 年度 第2回 共同利用施設運営部門会議

日時：2024 (令和6) 年6月5日 (水)～6月7日 (金)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 共同利用施設運営部門の大学年報原稿を確認し承認された。

## (3) 2024 (R6) 年度 第3回 共同利用施設運営部門会議

日時：2024 (令和6) 年6月24日 (月)～6月28日 (金)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 共同利用施設運営部門の大学年報原稿を提出したことが報告された。
- b. 「共同利用実験室利用内規」の改正について、6月の医学部自己点検・評価委員会、および教員代表者会議で承認された。(報告)
- c. 第14回 医学部中央研究施設部門会議議事録抜粋が報告された。

## (4) 2024 (R6) 年度 第4回 共同利用施設運営部門会議

日時：2024 (令和6) 年8月29日 (木)～9月2日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第15回 医学部中央研究施設部門会議議事録抜粋を報告された。

## (5) 2024 (R6) 年度 第5回 共同利用施設運営部門会議

日時：2024 (令和6) 年9月25日 (水)～9月30日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第16回 医学部中央研究施設部門会議議事録抜粋が報告された。今後、文部科学省の私学助成金の申請内容は各プランチの意見を反映させた全学的なものとするために共同利用施設運営部門会議で議論する。

## (6) 2024 (R6) 年度 第6回 共同利用施設運営部門会議

日時：2024 (令和6) 年10月25日 (金)～10月28日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第17回 医学部中央研究施設部門会議議事録抜粋が報告され、令和6年度私学助成金交付について、教育基盤設備として QuantStudio3, 研究装置として Cytek Aurora CS が決定したことが報告された。
- b. 医学研究センター創立20周年記念誌の発行に向けて、共同利用施設運営部門の活動記録をまとめる。

## (7) 2024 (R6) 年度 第7回 共同利用施設運営部門会議

日時：2024 (令和6) 年11月15日 (金)～11月18日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第18回 医学部中央研究施設部門会議議事録抜粋が報告された。
- b. 12月4日 (水)、原子力規制庁により、埼玉医科大学 RI 研究施設 (毛呂山キャンパス) の立入検査が行われることが報告された。医学部中央研究施設 RI 部門が中心となり、他部署の協力を得ながら対応準備中である。
- c. 2025年1月23日 (木)・24日 (金)に会計監査院による調査が行われる情報 (購買課より) が共有され、片桐部門長より各部署で使用実績のとりまとめが依頼された。(報告)
- d. 2025年1月31日開催の公益財団法人日本実験動物学会による動物実験の外部検証事業等に関する説明会について、安全管理部門と協力して参加を検討することとした。

## (8) 2024 (R6) 年度 第8回 共同利用施設運営部門会議

日時：2024 (令和6) 年12月6日 (金)～12月12日 (木)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. R7年度の共同利用施設運営部門における事業計画と予算案について、今後、共同利用施設運営部門において文部科学省の私立大学等を対象とした補助金申請の候補となる器機設備を検討することを明記し、承認された。

## (9) 2024 (R6) 年度 第9回 共同利用施設運営部門会議

日時：2024 (令和6) 年12月17日 (火)～12月24日 (火)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第19回 医学部中央研究施設部門会議議事録抜粋が報告された。
- b. 第7回 共同利用施設運営部門会議の続報として、2025年1月31日に開催される動物実験の外部検証事業等に関する説明会に安全管理部門と共同利用施設運営部門から計11名が参加する予定であることが報告された。

## (10) 2024 (R6) 年度 第10回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年1月24日 (金)～1月31日 (金)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第 20 回 医学部中央研究施設部門会議議事録抜粋が報告され、会計検査院による実地検査が行われること、第 3 研究棟の空調不調、X 線照射装置の使用中止が報告された。また、設置希望機器リストの更新が依頼された。
- b. 特に省庁の補助金等によって導入された機器や設備は、その選考・導入過程の記録や、導入後の利用実績等の説明が求められる場合があるため、各担当部署にこれらの記録・管理の再確認をお願いした。
- c. 令和 9 年度に予定されている大学機関別認証評価受審に向けて、全学的に規定等の見直しが行われており、医学研究センター共同利用施設運営部門関連として中央研究施設規則の確認が依頼された。

(11) 2024 (R6) 年度 第 11 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和 7) 年 2 月 14 日 (金)～2 月 19 日 (水)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 毛呂山キャンパス共同利用実験室の利用に関する研究器機の持ち込みについて、および、安全キャビネットの移設についての 2 点が発議され、審議の結果承認された。

(12) 2024 (R6) 年度 第 12 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和 7) 年 2 月 20 日 (木)～2 月 27 日 (木)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第 21 回 医学部中央研究施設部門会議議事録抜粋が報告された。

(13) 2024 (R6) 年度 第 13 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和 7) 年 3 月 7 日 (金)～3 月 20 日 (木)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省へ提出する「私立大学等の施設・設備計画」を作成するために、私学助成金を利用して令和 7 年度・8 年度に設置を希望する機器・設備のリスト作成が必要なが説明された。医学研究センター各ブランチ長と IT センター長に各部署で要望をとりまとめるよう依頼された。

(14) 2024 (R6) 年度 第 14 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和 7) 年 3 月 24 日 (月)～3 月 26 日 (水)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第 13 回 共同利用施設運営部門会議で依頼された、私学助成金を利用した設置希望機器・設備の集計結果 (全 11 件) が示された。本部門会議で確認後、購買課へ報告予定である。
- b. 第 22 回 医学部中央研究施設部門会議議事録抜粋が報告され、中央研究施設が管理している機器の予約システムの改定が計画され、2025 (R7) 年度 研究マインド支援 Grant 「両学部における共通部門」へ申請予定である旨説明され、承認された。

2) 共同利用実験室および中央研究施設利用の啓発と整備

共同利用実験室は、実験室を持たない教員に対し最小限の機器を備えた実験場所を提供し、もって当該教員の研究活動のセットアップに資することを目的として、平成 24 (2012) 年 9 月 10 日より運用が開始され、現在、基礎医学棟 3 階ならびにゲノム棟 4 階に整備されている。それぞれに実験ベンチや基本機器およびフェローステーションが併設されている。

令和 5 (2023) 年度の利用実績は下記の通りであった。

(1) 共同利用実験室

- a. 毛呂山キャンパス：登録基本学科数 9～12 学科/月、利用登録者数 13～19 人/月
- b. 日高キャンパス：登録基本学科数 14～17 学科/月、利用登録者数 33～44 人/月

(2) 中央研究施設

- a. 機能部門：登録基本学科数 47～50 学科/月、利用登録者数 188～198 人/月
- b. 形態部門：登録基本学科数 46～48 学科/月、利用登録者数 181～190 人/月
- c. 実験動物部門：登録基本学科数 46～48 学科/月、利用登録者数 199～224 人/月
- d. RI 部門：登録基本学科数 9 学科/月、利用登録者数 15～17 人/月
- e. 日高ブランチ機能部門：登録基本学科数 36～42 学科/月、利用登録者数 131～140 人/月
- f. 日高ブランチ実験動物部門：登録基本学科数 6～10 学科/月、利用登録者数 23～27 人/月

3) 中央研究施設共同利用研究機器・設備整備

(1) 令和 6 年度 私学助成金

- a. Cytek：Cytek Aurora CS セルソーター【医学部中央研究施設形態部門】
- b. SONY：スペクトル型セルアナライザー ID7000【総合医療センター研究部】

c. Applied Biosystems : QuantStudio3 リアルタイム PCR システム 【医学部中央研究施設日高ランチ機能部門】

(2) 学内予算

- a.  $\gamma$  サーベイメーター 【RI 部門】
- b. メルク 純水装置 【RI 部門】
- c. MilliQ サポートプラス 【実験動物部門】
- d. 飼育用柵 【実験動物部門】
- e. 吸光・蛍光・発光プレートリーダー (Varioskan LUX) 【機能部門】

4) テクニカルセミナーの開催

以下のテクニカルセミナーを開催し、機器の取り扱いおよび新しい研究技術を紹介した。

- (1) 2024/07/01 10:00-19:00 キーエンス オールインワン蛍光顕微鏡 BZ-X700 WEB 操作説明会
- (2) 2024/10/02 13:30-16:30 Leica 共焦点レーザー顕微鏡 TCS SP8 操作説明会
- (3) 2024/10/07 13:00-18:00 キーエンス オールインワン蛍光顕微鏡 BZ-X700 テクニカルセミナー  
～研究分野別の活用術のご案内～
- (4) 2024/10/29 16:00-17:30 医学部中央研究施設セミナー  
RNA-seq とは～RNA-seq で何が得られるか～
- (5) 2024/11/06 13:00-16:30 サーモフィッシュャーサイエンティフィック社 プロテオミクスセミナー  
プロテオーム解析の基礎, サンプル調製と関連試薬, アプリケーション事例
- (6) 2024/12/12 14:00-17:30 サーモフィッシュャーサイエンティフィック社 吸光・蛍光・発光プレートリーダー  
(Varioskan LUX) 取り扱い説明会
- (7) 2024/12/17 10:00-17:00 SONY 社 スペクトル型セルアナライザー「ID7000」説明会
- (8) 2024/12/18 15:00-17:00 Applied Biosystems QuantStudio3 取扱説明会
- (9) 2025/02/12 15:00-17:00 SONY 社 スペクトル型セルアナライザー「ID7000」説明会

#### 4. 自己評価と次年度計画

##### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

令和6年度は、計画通り共同利用実験室利用内規を改正し、共同利用施設運営部門が管理・運営を行い、毛呂山キャンパスと日高キャンパスの共同利用実験室の庶務を、それぞれ医学部中央研究施設機能部門と日高ランチ機能部門が担当することを明確化した。令和6年度の共同利用実験室の登録者数は、両キャンパス合計で毎月46～58名であった。医学部中央研究施設の毎月の利用登録者は、毛呂山キャンパス(4部門)が586～628名、日高キャンパス(2部門)が156～167名であった。令和6年度は私学助成金3件が採択され、Cytek Aurora CS セルソーター(医学部中央研究施設形態部門設置)、スペクトル型セルアナライザー ID7000(総合医療センター研究部設置)とQuantStudio3 リアルタイム PCR システム(医学部中央研究施設日高ランチ機能部門設置)を導入した。また、合計8回のテクニカルセミナーを開催した。令和7年1月23日・24日に実施された会計検査院による実地調査において、文部科学省の補助金を受けて導入した研究機器・設備の導入経緯や利用状況を説明した。

##### 4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

本学の研究力向上を目指して、事務組織を含め、全学的な共同利用研究機器・設備に関する情報を共有するため、共同利用施設運営部門の構成員や運営体制を見直す。併せて、共同利用実験室内規の改正に加えて、全学的な医学研究センター共同利用施設運営部門と医学部中央研究施設の役割の明確化に努める。近年、学内外の研究機器・設備の共用が求められており、情報の収集・管理と適切な発信による有効な共用法を検討する。現在、毛呂山キャンパス第3研究棟の老朽化による空調設備等の故障が深刻であると共に、設置された機器も10年以上で経年劣化による故障・不具合が多発している。関係部署と連携しながら、補助金の申請等を利用して計画的な研究環境の整備を検討する。

## 医学研究センター

## 安全管理部門

三谷 幸之介  
(部門長)

## 1. 構成員

部門長 三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 医学部ゲノム応用医学: 教授 (任期: R7.3.31)

感染分野

副部門長 村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 医学部微生物学: 教授 (任期: R7.3.31)  
 部門員 前田卓哉 (MAEDA, Takuya) : 大学病院臨床検査医学: 教授  
 部門員 堀内 大 (HORIUCHI, Yutaka) : 医学部微生物学: 講師  
 部門員 森 隆 (MORI, Takashi) : 総合医療センター研究部: 教授  
 部門員 光武耕太郎 (MITSUTAKE, Kohtaro) : 国際医療センター感染症科・感染制御科: 教授  
 部門員 樽本憲人 (TARUMOTO, Norihito) : 大学病院感染症科・感染制御科: 教授  
 部門員 池田和博 (IKEDA, Kazuhiro) : 医学部ゲノム応用医学: 准教授  
 部門員 酒井 純 (SAKAI, Jun) : 保健医療学部臨床検査学科: 准教授  
 部門員 河村 亨 (KAWAMURA, Ryo) : 大学病院中央検査部: 課長補佐

薬物・廃液等環境分野

副部門長 奥田晶彦 (OKUDA, Akihiko) : 医学部ゲノム基礎医学: 教授 (任期: R7.3.31)  
 部門員 森 隆 (MORI, Takashi) : 総合医療センター研究部: 教授  
 部門員 三島和彦 (MISHIMA Kazuhiko) : 国際医療センター脳神経外科: 教授  
 部門員 山賀 貴 (YAMAGA, Takashi) : 保健医療学部臨床検査学科: 助教  
 部門員 淡路健雄 (AWAJI, Takao) : 医学部薬理学: 准教授  
 部門員 西本正純 (NISHIMOTO, Masazumi) : 中央研究施設日高ランチ RI 部門: 准教授  
 部門員 齋藤健一 (SAITO, Kenichi) : 総合医療センター薬剤部: 次長  
 部門員 藤原智徳 (FUJIWARA, Tomonori) : 保健医療学部臨床検査学科: 教授

DNA 分野

部門長 三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 医学部ゲノム応用医学: 教授 (任期: R7.3.31)  
 副部門長 村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : (任期: R7.3.31)  
 副部門長 米田竜馬 (YONEDA, Ryoma) : 医学部ゲノム応用医学: 講師 (任期: R7.3.31)  
 部門員 千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : RA センター: 教授  
 部門員 森 隆 (MORI, Takashi) : 総合医療センター研究部: 教授  
 部門員 梶山 浩 (KAJIYAMA, Hiroshi) : 大学病院リウマチ膠原病科: 講師  
 部門員 藤原智徳 (FUJIWARA, Tomonori) : 保健医療学部臨床検査学科: 教授  
 部門員 市川朝永 (ICHIKAWA, Tomonaga) : 微生物学: 講師  
 部門員 菅原哲雄 (SUGAHARA, Tetsuo) : RA センター知財担当: 講師  
 部門員 柳下 楠 (YAGISHITA, Nan) : 薬理学: 講師  
 部門員 百瀬修二 (MOMOSE, Syuji) : 総合医療センター病理部: 教授

**動物分野**

副部門長	森 隆 (MORI, Takashi)	: 総合医療センター研究部: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke)	: ゲノム応用医学: 教授
部門員	山本晃士 (YAMAMOTO, Kouji)	: 総合医療センター輸血部: 教授
部門員	小野川 傑 (ONOGAWA, Tsuyoshi)	: 保健医療学部臨床検査学科: 教授
部門員	千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki)	: リサーチアドミニストレーションセンター: 教授
部門員	中島孔志 (NAKAJIMA, Kohshi)	: 保健医療学部 臨床工学科: 講師
部門員	横尾友隆 (YOKOO, Tomotaka)	: 中央研究施設日高ランチ 実験動物部門: 准教授
部門員	水野由美 (MIZUNO, Yumi)	: 中央研究施設実験動物門: 講師
部門員	堀内 大 (HIRIUCHI, Yutaka)	: 微生物学: 講師
部門員	佐藤勝茂 (KATSUSHIGE, Sato)	: リサーチアドミニストレーションセンター: 課長

**RI 分野**

副部門長	西本正純 (NISHIMOTO, Masazumi)	: 中央研究施設 RI 部門: 准教授 (任期: R7.3.31)
部門員	長谷川幸清 (HASEGAWA, Kosei)	: 国際医療センター骨盤腫瘍科: 教授
部門員	茅野秀一 (KAYANO, Hidekazu)	: 保健医療学部臨床検査学科: 教授
部門員	熊倉嘉貴 (KUMAKURA, Yoshitaka)	: 総合医療センター画像診断科・核医学科: 教授

**2. 目的・目標**

本部門は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規程第9条に則り研究活動に必要な安全管理に関する業務を行う。

今年度はこの目的を達成するため、組換え DNA 実験安全委員会、RI 実験安全委員会、環境安全委員会、動物実験安全委員会、病原性微生物等管理委員会と協力し、関連規程に則った安全管理を徹底的に行うことを目標として活動した。

**3. 活動実績**

研究活動の専門性を考慮し、本部門は以下の5つの分野で構成され、各部門が連携して活動を行った。

**感染分野**

病原体等の安全管理のため、病原性微生物等管理委員会のもとで活動した。今年度は、病原体等取扱申請書24件（新規7件、継続17件）、指定実験室使用申請書2件、病原体等移動（受入）申請書3件、病原体等分与（譲渡）申請書1件、病原体等取扱（変更・追加）申請1件が提出され、すべて承認された。また、教育訓練受講証明書を1件発行した。

教育訓練として、7月のR6年度大学院実用実験医学講義にて「バイオセーフティとバイオテロの動向」の講義を実施した。ポリオウイルスの保有状況に関する調査を実施し、関連試料の保有がないことを報告した。また、令和6年12月18日付の内閣官房（文部科学省研究振興局ライフサイエンス生命倫理・安全対策室）からの病原性微生物保有状況調査依頼に対応するため、リサーチアドミニストレーションセンターと協力して調査を実施し、結果を報告した。

WHOの「実験室バイオセーフティ指針第3版および第4版」を参照し、本学の病原体等安全管理規則・リスク評価項目（付表1-2）・実験室の安全設備（付表3）のアップデートの必要性を検討した。さらに、ヒト細胞株の取扱とバイオセーフティレベルについて審議を行った。

**薬物・廃液等環境分野**

薬物分野の最重要活動の一つとして、各研究者のケタミン等の麻薬の管理・使用を正確に把握するよう努めた。年度当初6名いた麻薬研究者免許証所有者のうち1名が返納を希望したため、手続きをサポートした。加えて、麻薬保管場所の一部を視察し、適切な保管状況と使用記録との齟齬がないことを確認した。その他、向精神薬やその他の化学リスクアセスメント対象物質の管理状況も把握した。

廃液等環境分野では、各キャンパスの担当事務職員と連携し、特に問題がないことを確認した。また、不要な向精神薬やその他の化学リスクアセスメント対象物質の廃棄に関する研究者からの相談に対応した。

**DNA 分野**

遺伝子組換え生物等の使用等に関する審査申請状況は以下の通りである。第二種拡散防止措置申請書を34件、内容変更を61件承認した。教育訓練受講証明書を44件発行した。

教員訓練を6月のR6年度大学院実用実験医学講義にて実施した。医学部1年生の細胞生物学実習（9月2日～4日、P1レ

ベル)では、学生に対しカルタヘナ法遵守の必要性を周知した。「研究開発等に係る遺伝子組換え生物等の第二種使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令」および「研究開発等に係る遺伝子組換え生物等の第二種使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令の規定に基づき認定宿主ベクター系等を定める件」の改正に伴い、学内関係者に周知した。

組換え DNA 実験の審査業務の DX 化に向けて、令和 7 年度からのシステム運用開始の準備を進めた。

### 動物分野

学内の動物実験は、動物実験委員会による計画書の審査・承認を経て実施される。今年度は、動物実験計画書：221 件（組換え DNA 実験：P1A 実験 76 件、P2A 実験 9 件／感染実験：ABSL1 実験 4 件、ABSL2 実験 6 件／毒物使用実験：15 件／RI 使用実験：12 件）、動物実験中間報告書・自己点検票：208 件、動物実験結果報告書・自己点検票：13 件、動物実験計画（変更・追加）承認申請書：56 件、動物実験（終了・中止）報告書：13 件、実験室設置承認申請書：29 件、を審査・承認した。様式 8 動物実験の自己点検票と様式 9 実験動物飼養保管状況の自己点検票により、令和 6 年度の動物実験と飼養保管状況の自己点検を実施した。

遺伝子組換え生物等を使用した動物実験は、組換え DNA 実験安全委員会により第二種使用等拡散防止措置承認申請書の審査・承認が行われた。また、動物実験等に関する情報は、外部閲覧可能なホームページ (<http://www.saitama-med.ac.jp/medlinks/animal/index.html>) で公開している。

### RI 分野

RI 利用実験および放射線発生装置利用実験は、法律（RI 法、労働安全衛生法など）により厳しく規制されている。これらの実験の実施にあたり、研究者の安全管理のため、RI 安全委員会の設置が規定されており、RI 分野はこの委員会と連携して放射線安全管理について討議している。

今年度は、これらの実験において利用者に関する特段の問題は発生せず、改善措置を勧告すべき事項はなかった。

RI 研究施設（毛呂山キャンパス第 3 研究棟）では、法律で義務付けられている原子力規制庁による立入検査が令和 6 年 12 月 4 日に実施された。この検査では、老朽化による問題発生の可能性が高い排水設備が重点的に検査される旨の事前通知があった。これを受け、竹内勤学長の指示のもと、中央研究施設 RI 部門が対応部署として、施設部他関係部署の協力を得て、排水設備点検を含む事前準備を行った。立入検査は、検査官からの指摘を受けることなく無事終了した。RI 部門からの報告に基づき、RI 分野としても審議を行い、「今後も関係部署との連携を取りながら、施設管理に努めること」と指示した。

## 4. 自己評価と次年度計画

### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

- ・各分野において、分野間連携を含め、各キャンパス（または研究施設）で順調に教育および管理活動を実施できた。必要に応じて各分野間で情報共有・連携を図り、本学における研究の安全管理を推進した。
- ・安全管理部門ホームページに研究倫理関連情報を集約することで、新たに赴任した研究主任や研究者が研究を開始する際に必要な情報を効率的に提供できるようになった。

### 4-2. 今年度の事故点検・評価結果に基づく改善計画

研究活動の安全管理を一層推進するため、以下の取り組みを実施する。

- ・安全管理部門ホームページの改訂等により情報発信を強化し、研究活動に伴う安全管理に関する理解を深め、各種申請の適切な提出を徹底する。
- ・各分野は、関連情報を継続的に収集し、必要に応じて本学の規程・規則や管理手順を改正する。
- ・リサーチアドミニストレーションセンターと連携し、安全管理部門の業務を一層推進する。

## 医学研究センター

## フェロースhip部門

三輪 尚史  
(部門長)

## 1. 構成員

部門長	三輪尚史 (MIWA, Naofumi)	: 生理学: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	淡路健雄 (AWAJI, Takeo)	: 薬理学: 准教授 (任期: R7.3.31)
部門員	井上 勉 (INOUE, Tsutomu)	: 大学病院腎臓内科: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	栗田浩樹 (KURITA, Hiroki)	: 国際医療センター脳神経外科: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	山下高生 (YAMASHITA, Takao)	: 保健医療学部・臨床工学科: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	高田 綾 (TAKADA, Aya)	: 法医学: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	名越澄子 (NAGOSHI, Sumiko)	: 総合医療センター消化器・肝臓内科: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員	村上 孝 (MURAKAMI, Takashi)	: 微生物学: 教授 (任期: R7.3.31)

## 2. 目的・目標

本部門は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規定第9条(4)に則り、大学院医学研究科委員会、および医学教育センターと連携のもと、教員以外の研究者の経済的・身分的支援について協議し答申することを活動の中心とする。本目的のために、大学院、リサーチフェロー、および学外からのフェロースhipに関与する。

今年度は、「2024年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」受給者の確認と、「2025年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」の応募と選考、およびその結果を医学研究センター運営会議に上程することを目標として活動した。

## 3. 活動実績

## 1) 部門会議

随時、メール会議を開き、迅速に対応した。

- (1) 第1回部門会議 (令和6年4月11日(木)~令和6年4月18日(木):メール会議) 出席8人欠席0人  
オブザーバー (片桐医学研究センター長, 庶務課)  
議事: 「令和5年度大学年報および埼玉医大雑誌の原稿の確認」について (議事録有, 運営会議報告)
- (2) 第2回部門会議 (令和6年7月11日(木)~令和6年7月18日(木):メール会議) 出席8人欠席0人  
オブザーバー (片桐医学研究センター長, 庶務課)  
議事: (a) 継続受給者およびその方の指導教員の方へ、フェロースhipから直接募集のご案内を差し上げること  
(b) 条件付承認の方への年度途中からの給付に関すること  
(c) 現規程の中の誤記載の修正  
(議事録有, 運営会議報告)
- (3) 第3回部門会議 (令和6年8月1日(木)~令和6年8月7日(水):メール会議) 出席8人欠席0人  
オブザーバー (片桐医学研究センター長, 庶務課)  
議事: (a) 私費外国人留学生等奨学金の応募 (と追加応募) の時期の前倒し  
(b) 現規程の中の誤記載の修正  
(議事録有, 運営会議報告)
- (4) 第4回部門会議 (令和6年8月30日(金)~令和6年9月6日(金):メール会議) 出席8人欠席0人  
オブザーバー (片桐医学研究センター長, 庶務課)  
議事: (a) 総合企画部により変更されました規程修正案のご承認  
(b) 部門内の「申し合わせ事項」の確認  
(議事録有, 運営会議報告)

- (5) 第5回部門会議（令和6年9月20日（金）～令和6年9月26日（木）：メール会議）出席8人欠席0人  
オブザーバー（片桐医学研究センター長，庶務課）  
議事：「2025（R7）年度の私費外国人留学生奨学金の募集要項案（日本語と英語版）」について  
（議事録有，運営会議報告）
- (6) 第6回部門会議（令和6年11月29日（金）～令和6年12月6日（水）：メール会議）出席8人欠席0人  
オブザーバー（片桐医学研究センター長，庶務課）  
議事：「2025（R7）年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金応募者の確認・選考」について  
（議事録有，運営会議報告）
- (7) 第7回部門会議（令和6年12月9日（月）～令和6年12月16日（月）：メール会議）出席8人欠席0人  
オブザーバー（片桐医学研究センター長，庶務課）  
議事：「2025（R7）年度事業計画と予算の審議」について（議事録有，運営会議報告）
- (8) 第8回部門会議（令和7年1月20日（月）～令和7年1月27日（月）：メール会議）出席8人欠席0人  
オブザーバー（片桐医学研究センター長，庶務課）  
議事：「2025年度奨学金受給候補者1名のご辞退の件」について（議事録有，運営会議報告）

## 2) 埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金の募集・選考について

「2025年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」を，2024（R6）年11月1日（金）から11月11日（月）に募集した。期間中に応募があった4名の資格確認と選考を行った。

- ・応募者1名は，すでに本奨学金を受給しており，本奨学金の受給資格に該当する。以上より，本奨学金の受給資格に該当するものとした。
- ・上記応募者とは別の応募者1名は，すでに本学で研修中であるものの，まだ専攻生とはなっていなかった。専攻生となった後に，必要書類の届けを確認後に受給候補者としてすることとした。
- ・残りの応募者2名は，まだ入国されておられないため，在留カード等はなかった。2025年3月末に入国し4月より入学予定だった。以上より，入国後に必要書類の届けを確認した後，受給候補者としてすることとした。
- ・また，上記4名が，埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金規程第4条に定めた給付を受ける者の数の年間4名以内の上限となることから，追加募集はしないこととした。

以上を，令和6年12月20日の医学研究センター運営会議に答申した。

## 3) 次年度以降の募集・選考時期の変更および規程の改定

- ・来年度以降の募集時期を，これまでの11月はじめの1週間から9月はじめの1週間へと早めることとした。これに関して，規程の一部を改定することとした。これは，昨今，日本入国ビザを取得するためには相当数の日数を要する現状であることを考慮し，新しく日本に来られる条件付受給候補者が，新年度初めから支給されるように配慮したためである。
- 以上を，令和6年10月4日の医学研究センター運営会議に答申した。

## 4. 自己評価と次年度計画

### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

前年度の改善計画に基づき，令和6年度も，「埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」を募集し，厳正・公平な審査を行った。

### 4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

今年度も，「埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金」応募者を厳格に審査し，本奨学金が有効に利用できた。来年度は募集時期が前倒しになり，9月に募集する予定となった。今後も，これまでの活動が維持されるよう，早期に募集の準備を整えて厳格な審査を行う。

## 医学研究センター

## 研究評価部門

椎橋 実智男  
(部門長)

## 1. 構成員

部門長 椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio) : IRセンター: 教授 (任期: R7.3.31)  
副部門長 徳元 康人 (TOKUMOTO, Yasuhito): アドミッションセンター: 講師 (任期: R7.3.31)  
部門員 別所 和博 (BESSHO, Kazuhiro) : 医学研究センター: 助教  
新井 菜緒 (ARAI, Nao) : 大学事務部: 事務員

## 2. 目的・目標

本部門は、埼玉医科大学医学研究センター規程第8条に則り、種々の研究評価を行うための研究業績データを集積し、提供し、学外からの人的・経済的資源の確保をめざした広報活動を行う、ことを目的としている。

## 3. 活動実績

- 研究業績データベース
  - ・保健医療学部の教員に対する利用説明会の開催 (4月)
  - ・中央研究施設を利用した研究成果のデータの提出 (7月)
  - ・人事考課のための研究業績データダウンロードへの対応 (7月)
  - ・大学病院への研究業績の提出 (特定機能病院) (8月)
  - ・国際医療センターへの研究業績の提出 (JCI) (8月)
  - ・Researchmap とのデータ交換 (4月から3月まで原則毎月実施)
- 医学研究センターホームページ
  - ・研究費公募関連情報の掲載
  - ・埼玉医科大学雑誌 (電子版) の掲載
  - ・その他関連情報の更新
- 研究活動実績登録システム
  - ・データの集積, 登録, 分析
  - ・人事考課における研究活動実績 (研究ポイント) の運用

## 4. 自己評価と次年度計画

## 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

研究業績データベースの利用は徐々に定着してきており、部門の目標とする活動とその成果は達成できたものと自己評価している。また、令和6年度に実施した研究業績データベースのカスタマイズによって、MEDLINE や医学中央雑誌などの外部データベースからのデータの取り込みが可能となった。本学の研究をさらに推進するために、他大学と比較した本学の研究力の分析を行う必要がある。

## 4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

IRセンターと連携した研究活動の質保証、利用率の低い臨床の助教の利用拡大にむけて努力を続ける。本学の研究をさらに推進するために、他大学と比較した本学の研究力の分析を計画する。

## 医学研究センター

## 医学研究センター運営会議

片桐 岳信  
(議長)

## 1. 構成員

- ◇議長 (医学研究センター運営会議規則第3条1号構成員)
  - 片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : センター長 (任期: R7.7.31)
- ◇副センター長 (医学研究センター運営会議規則第3条1号構成員)
  - 小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 副センター長 (任期: R7.7.31)
- ◇部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)
  - 海老原康博 (EBIHARA, Yasuhiro) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)
  - ※片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : 共同利用施設運営部門 (任期: R7.3.31)
  - ※小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 研究支援管理部門 (任期: R7.3.31)
  - 三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (任期: R7.3.31)
  - 三輪 尚史 (MIWA, Naofumi) : フェローシップ部門 (任期: R7.3.31)
  - 椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio) : 研究評価部門 (任期: R7.3.31)
- ◇副部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)
  - 百瀬 修二 (MOMOSE, Shuji) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)
  - 下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)
  - 横田 和浩 (YOKOTA, Kazuhiro) : 研究主任部門 (任期: R7.3.31)
  - 横尾 友隆 (YOKOO, Tomotaka) : 共同利用施設運営部門 (任期: R7.3.31)
  - 堀内 大 (HORIUCHI, Yutaka) : (任期: R7.3.31)
  - ※三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (DNA分野) (任期: R7.3.31)
  - 米田 竜馬 (YONEDA, Ryoma) : 安全管理部門 (DNA分野) (任期: R7.3.31)
  - 村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 安全管理部門 (感染分野) (任期: R7.3.31)
  - 奥田 晶彦 (OKUDA, Akihiko) : 安全管理部門 (薬物・廃液等環境分野) (任期: R7.3.31)
  - 森 隆 (MORI, Takashi) : 安全管理部門 (動物分野) (任期: R7.3.31)
  - 西本 正純 (NISHIMOTO, Masazumi) : 安全管理部門 (RI分野) (任期: R7.3.31)
  - 徳元 康人 (TOKUMOTO, Yasuto) : 研究評価部門 (任期: R7.3.31)
- ◇ランチ長 (医学研究センター運営会議規則第3条3号構成員)
  - ※小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 毛呂山ランチ担当 (任期: R7.3.31)
  - 山本 晃士 (YAMAMOTO, Koji) : 総合医療センターランチ担当 (任期: R7.3.31)
  - ※海老原康博 (EBIHARA, Yasuhiro) : 国際医療センターランチ担当 (任期: R7.3.31)
  - ※下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 保健医療学部ランチ担当 (任期: R7.3.31)
  - ※は重複構成員…計18名
- ◇オブザーバー
  - 竹内 勤 (TAKEUCHI, Tsutomu) : 学長
  - 森 茂久 (MORI, Shigehisa) : 副学長, 医学部長
  - 高橋 健夫 (TAKAHASHI, Takeo) : 副学長
  - 千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : リサーチアドミニストレーションセンター センター長
  - 菅原 哲雄 (SUGAHARA, Tetsuo) : リサーチアドミニストレーションセンター 講師
  - 佐藤 勝茂 (SATO, Katsushige) : リサーチアドミニストレーションセンター 課長
  - 町田 早苗 (MACHIDA, Sanae) : 医学研究センター 講師
  - 別所 和博 (BESSHO, Kazuhiro) : 医学研究センター 助教
  - 福田枝里子 (FUKUDA, Eriko) : 医学研究センター 助手

## ◇事務局

下田 裕子 (SHIMODA, Yuko) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課 課長

佐國 真紀 (SAKUNI, Maki) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課

## 2. 目的・目標

医学研究センター運営会議は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター運営会議規則第1条に則り、医学研究センターの円滑な運営に資することを目的として、平成17年11月に設置された。医学研究センターは、本学の研究活動を全学的に支援する組織であり、研究体制、研究場所、研究費、安全管理等に関する仕組みを整備し、企画、運用、管理している。医学研究センター運営会議は、これらの実効正当について審議し、医学部教員代表者会議、保健医療学部教授会へ上程する責務を担う。令和5年度の医学研究センター運営会議は、片桐センター長を議長として、6つの部門の各部門長、副部門長、および4つのランチ長と、総勢18名で構成される。

毎月（8月を除く）の運営会議を開催し、全学的な研究活動の向上と研究成果の社会への還元を目指す医学研究センターの活動を議論し、その内容を教員代表者会議と保健医療学部教授会に上程する。

## 3. 活動実績

## ◇定期開催

第204回：4月5日（金）Zoom会議 出席者16名（委任状1名、欠席1名）

第205回：5月10日（金）Zoom会議 出席者16名（委任状2名）

第206回：6月7日（金）Zoom会議 出席者18名

第207回：7月5日（金）Zoom会議 出席者17名（委任状1名）

第208回：9月6日（金）Zoom会議 出席者15名（委任状3名）

第209回：10月4日（金）Zoom会議 出席者15名（委任状3名）

第210回：11月1日（金）Zoom会議 出席者16名（委任状2名）

第211回：12月6日（金）Zoom会議 出席者17名（委任状1名）

第212回：1月10日（金）Zoom会議 出席者17名（委任状1名）

第213回：2月7日（金）Zoom会議 出席者16名（委任状2名）

第214回：3月7日（金）Zoom会議 出席者17名（委任状1名）

## ◇開催回数

定期開催：11回 出席者平均 16名（委任状平均2名）

## ◇議事内容

本会議では、センター長からの報告、各部門や関連する委員会からの報告と審議、研究センター組織内の人事に係る報告等、大学における研究の基本的方向性やあり方に関する議論を行う場として機能している。すなわち、議事は以下に示すような形態を原則として進行する。

## 1. 医学研究センター長報告

## 2. 各部門報告

①研究主任部門

②共同利用施設運営部門

③研究支援管理部門

④安全管理部門

⑤フェローシップ部門

⑥研究評価部門

## 3. 各ランチ報告

①毛呂山ランチ

②総合医療センターランチ

③国際医療センターランチ

④保健医療学部ランチ

## 4. その他報告

#### 4. 自己評価と次年度計画

##### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

令和6年度も、医学研究センター運営会議をZoomを用いたオンライン会議として開催した。毎回の医学研究センター運営会議における報告と審議は恙なく行われ、その議事録を作成して教員代表者会議と保健医療学部教授会に上程された。さらに、毎回の運営会議議事録を医学研究センター学内HPに掲示すると共に、議事要約を研究主任部門から各基本学科の研究主任メーリングリストを介して配信し、全学的な研究関連情報の周知に務めた。

##### 4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

次年度も、毎月の医学研究センター運営会議をZoomを用いたオンライン会議として開催し、その議事録を作成して毎月の教員代表者会議と保健医療学部教授会に上程する。令和6年度は、研究主任部門部門から各研究主任への連絡が滞り、一部の研究主任に適切に配信されなかったことが判明した。研究主任メーリングリストの管理法と連絡体制を再検討する。

## 医学研究センター

## グラント選考委員会

片桐 岳信  
(委員長)

## 1. 構成員

## 委員長

片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : 医学研究セ長 : ゲノム基礎医学 : 教授 (任期 : R7.3.31)

## 委員

棚橋 紀夫 (TANAHASHI, Norio) : 専務理事 : 教授 (任期 : R7.3.31)

森 茂久 (MORI, Shigehisa) : 医学部長 : 教授 (任期 : R7.3.31)

加藤木利行 (KATOGLI, Toshiyuki) : 保健医療学部長 : 教授 (任期 : R7.3.31)

篠塚 望 (SHINOZUKA, Nozomi) : 大学病院長 : 消化器・一般外科 : 教授 (任期 : R7.3.31)

別宮 好文 (BEKKU, Yoshifumi) : 総合医療セ病院長 : 教授 (任期 : R4.3.31)

佐伯 俊昭 (SAEKI, Toshiaki) : 国際医療セ病院長 : 教授 (任期 : R7.3.31)

小山 政史 (OYAMA, Masafumi) : 副医学部長 : 国医セ泌尿器 : 教授 (任期 : R7.3.31)

門野 夕峰 (KADONO, Yuuho) : 整形外科学 : 教授 (任期 : R7.3.31)

秋岡 祐子 (AKIOKA, Yuko) : 小児科 : 教授 (任期 : R7.3.31)

石田 秀行 (ISHIDA, Hideyuki) : 総合医療セ消化器一般外科 : 教授 (任期 : R7.3.31)

山本 晃士 (YAMAMOTO, Koji) : 総合医療セ輸血部 : 教授 (任期 : R7.3.31)

解良 恭一 (SENBONMATSU, Takaaki) : 国際医療セ呼吸器病センター : 教授 (任期 : R7.3.31)

奥田 晶彦 (OKUDA, Akihiko) : ゲノム基礎医学 : 教授 (任期 : R7.3.31)

堀江公仁子 (Horie, Kuniko) : ゲノム応用医学 : 教授 (任期 : R7.3.31)

山田 健人 (YAMADA, Taketo) : 病理学 : 教授 (任期 : R7.3.31)

村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 微生物学 : 教授 (任期 : R7.3.31)

亀井美登里 (KAMEI, Midori) : 社会医学 : 教授 (任期 : R7.3.31)

千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : RA セ長 : 教授 (任期 : R7.3.31)

小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 生化学 : 准教授 (任期 : R7.3.31)

## オブザーバー

別所 正美 (BESSHO, Masami) : 学長 : 特任教授 (任期 : R7.3.31)

吉本 信雄 (YOSHIMOTO, Nobuo) : 副理事長 : 特任教授 (任期 : R7.3.31)

竹内 勤 (TAKEUCHI, Tsutomu) : 副学長 : 特任教授 (任期 : R7.3.31)

茂木 明 (MOGI, Akira) : 事務局長 (任期 : R7.3.31)

伊藤 富彦 (ITOH, Tomihiro) : 経理部係長 (任期 : R7.3.31)

## 事務担当者

堀内 大 (HORIUCHI, Yutaka) : 微生物学 : 講師 (任期 : R7.3.31)

下田 裕子 (SHIMODA, Yuko) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課 課長

佐國 真紀 (SAKUNI, Maki) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課

## 2. 目的・目標

グラント選考委員会は、「埼玉医科大学補助金関連共同研究規則」第1条に定める「研究経費の補助を国庫補助金等から得て、本学の研究活動の活性化、および円滑化を図り、もって本学の研究に発展する」目的を達成するため、同規則第5条に基づいて設置された委員会である。本委員会は、共同研究等審査委員会を引継ぎ、平成18年7月の教員代表者会議で承認され、同年8月発足した。グラント選考委員会は、医学研究センター研究支援管理部門と連携し、「学内グラント」、「財団等から募集される科学研究費を除く研究助成金」、および「私立大学高度化推進特別補助の学外グラント」に対し、学内選考を行うことを目的とする。

本年度も、「2024年度学内グラント」、「2024（R6）年度研究マインド支援グラント（両学部における共通部門）」、「2024（R6）年度研究マインド支援グラント（医学部基礎若手限定）」の募集と選考、「2023（R5）年度研究マインド育成のための教育プログラム実施助成金」の選考、「2024（R6）年度研究マインド育成のための教育プログラム実施助成金」の募集、埼玉大学との共同研究に関する選考、及び財団等が募集する研究助成金等への応募に関する学内選考を行うこととした。

### 3. 活動実績

#### 1) 学内グラント選考委員会（2024年4月25日）

於：Zoom開催，出席25人（委任状出席12人含む），欠席なし

議事：2024年度学内グラントの選考

丸木記念特別賞と科研費申請支援を募集・選考した。さらに、学内グラント採択課題（一般枠・科研費申請支援）が翌年、翌々年度に科研費に採択の場合に追加助成される奨励研究費（20万円）の対象者を決定した。

応募・審査結果

応募数：34件（採択数29件）

- (1) 丸木記念特別賞：応募数4件（採択数2件：助成期間：2024年6月1日～2025年5月31日）
- (2) 科研費採択奨励費：1件（全件採択：助成期間：2024年4月1日～2025年3月31日）
- (3) 科研費申請支援グラント：応募数29件（採択数26件：助成期間：2024年6月1日～2025年5月31日）

#### ・丸木記念特別賞（100万円）

- 1 水野 由美（医学部・中央研究施設 実験動物部門・講師）  
「ペルオキシソーム機能に着目した、自閉スペクトラム症と神経変性疾患の発症機構の解明」
- 2 是松 聖悟（医学部・総合医療センター 小児科・教授）  
「ポストコロナの小児喘息の病態変化の研究～トリガー感染症と予後、不良因子の検討」

#### ・科研費採択奨励費（20万円）

- 1 野木 武洋 大学病院 麻酔科 助教

#### ・科研費申請支援グラント

- 1 重松 幸佑 医学部 総合医療センター 産婦人科 助教 70万円  
「子宮頸癌発症機構における免疫応答の解析」
- 2 朝井 香子 医学部 国際医療センター 乳腺腫瘍科 ポストドクター 70万円  
「乳癌の転移を促進するEBV由来分子の役割解明から転移予防への展望」
- 3 高村 将司 医学部 大学病院 産科婦人科 准教授 70万円  
「慢性子宮内膜症が子宮内膜症発症を促進するメカニズム解明に向けた新規動物モデル作成の試み」
- 4 池田 礼史 医学部 国際医療センター 心臓内科 准教授 70万円  
「データサイエンスに基づく心不全遠隔診療モデルの構築」
- 5 佐藤 哲也 医学部 中央研究施設 日高ブランチ 准教授 70万円  
「ダーク／カモフラージュ遺伝子を考慮した個別化ゲノム解析方法」
- 6 佐々木 諒子 医学部 大学病院 神経精神科・心療内科 助教 70万円  
「多重ストレス統合失調症モデルマウスのニューラルオシレーションとドパミン調節の解析」
- 7 教山 紘之 医学部 総合医療センター 呼吸器内科 講師 70万円  
「APOBECとYAPシグナルに着目したEGFR変異陽性肺癌治療耐性化機序解明」
- 8 里村 敦 医学部 大学病院 内分泌・糖尿病内科 助教 70万円  
「ketosis-prone type 2 diabetesの病態形成におけるHIPの免疫学的意義」
- 9 田丸 俊輔 医学部 大学病院 産科婦人科 准教授 70万円  
「胎盤由来の母体血中エクソソームのつわり・妊娠悪阻の病態への関与」
- 10 吉川 圭介 医学部 基礎医学部門 薬理学 准教授 70万円  
「PGD2-ミクログリア神経炎症サイクルを標的とした神経変性疾患の遺伝子治療戦略」
- 11 伊丹 千晶 医学部 基礎医学部門 生理学 講師 70万円  
「バレル皮質臨界期における2/3層水平結合のスパイクタイミング依存性可塑性の発達」
- 12 杉山 智江 医学部 共通部門 医学教育センター 助教 70万円  
「迷走神経刺激装置植え込み術での術前頸部エコーによる迷走神経走行の予測と応用」
- 13 伊藤 吏那 医学部 基礎医学部門 生化学 助手 70万円  
「マウスの共感行動と前部帯状回オシレーションの関連」

- 14 山崎 真美 医学部 総合医療センター 病理部 助教 70万円  
「CD5を基軸としたtype1 IFN関連リンパ節炎の分子動態の解明と新規バイオマーカーの開発」
- 15 武 裕士郎 医学部 国際医療センター 脳卒中外科 講師 70万円  
「脳動脈瘤におけるMerTKを介したエフェロサイトーシスの寄与とメカニズムの解明」
- 16 宮原 直之 医学部 総合医療センター 小児科 助教 70万円  
「低栄養妊娠マウスから出生したマウスの肺発達および肺内エピジェネティック変化の解明」
- 17 川崎 朋範 医学部 国際医療センター 病理診断科 教授 70万円  
「骨軟部肉腫における治療を革新する腫瘍関連マクロファージ (TAM) の作用機序の解明」
- 18 荒木 智之 医学部 基礎医学部門 生化学 准教授 70万円  
「糖脂質を介した新規がん転移抑制機構の解明」
- 19 井上 慶明 医学部 総合医療センター 呼吸器外科 助教 70万円  
「PDX およびOrganoidを用いた非小細胞肺癌におけるDrug Tolerant Persisterの解明」
- 20 飯塚悠太郎 医学部 大学病院 リウマチ膠原病内科 ポストドクター 70万円  
「動物モデルを用いたエピゲノム制御およびJAK 阻害によるRA 病態解明と新規治療薬の研究」
- 21 竹内 優太 医学部 総合医療センター 肝胆膵外科小児外科 助教 65万円  
「神経芽腫に対する経口免疫療法と免疫チェックポイント阻害薬による抗腫瘍効果の解析」
- 22 内藤恵里佳 医学部 大学病院 呼吸器内科 助教 65万円  
「食物アレルギー合併と多種アレルギー感作が共同誘導する喘息の新規病態の探索」
- 23 石原 由夏 医学部 中央研究施設 実験動物部門 助手 50万円  
「T-RFLP法を用いたマウス・ラットの感染症診断システムの開発」
- 24 平崎 正孝 医学部 国際医療センター がんゲノム医療科 講師 50万円  
「浸潤性乳管癌の悪性を精密に評価する機械学習モデルの構築」
- 25 井上 快児 医学部 大学病院 放射線科 准教授 50万円  
「個別化医療のためのMRI テクスチャ解析を用いた子宮平滑筋腫の偽閉経療法の効果予測」
- 26 多林 孝之 医学部 総合医療センター 血液内科 教授 45万円  
「直接的な抗骨髄腫作用と免疫療法の効果増強の両方を標的とした新規骨髄腫治療法の開発」

## 2) 研究マインド支援グラント

### (1) 2024 (R6) 年度 両学部における共通部門

応募件数5件, メール会議 (2024年5月20日~5月24日), 採択5件 (総額9,376,183円)

### (2) 2023 (R5) 年度 研究マインド育成のための教育プログラム実施助成金

応募件数20件, メール会議 (2024年5月20日~5月24日), 採択20件 (総額7,371,650円)

- ・通年プログラム: 応募件数15名, 採択15件, (合計6,415,723円)
- ・春季・夏季プログラム: 応募件数2名, 採択2件, (合計104,812円)
- ・春期プログラム: 応募件数3名, 採択3件, (合計851,115円)

### (3) 2024 (R6) 年度 研究マインドのための教育プログラム実施助成金の募集開始

### (4) 2024 (R6) 年度 医学部若手限定

応募件数2件, メール会議 (2024年5月20日~5月24日), 採択1件 (総額500,000円)

## 3) 埼玉大学との共同研究に関する選考

### (1) 2024 (R6) 年度 継続申請 (2023 (R5) 新規申請)

応募件数8件, 一次審査員3名による採点 (2024年7月1日~7月31日)

埼玉大学との合同審査を経て, 採択7件 (総額6,217,000円)

## 4) 財団等の研究助成に関する学内選考

### (1) 公益財団法人 内藤記念科学振興財団「第56回内藤記念科学奨励金・研究助成」

応募者数5名, メール会議 (2024年5月17日~5月22日), 推薦1名

### (2) 日本私立学校振興・共済事業団「学術研究振興資金」

応募者数2名, メール会議 (2024年8月22日~8月27日), 推薦1名

### (3) 公益財団法人 川野小児医学奨学財団「2025 (令和7) 年度 研究助成一般枠」

応募者数3名, メール会議 (2024年10月31日~11月5日), 推薦1名

#### 4. 自己評価と次年度計画

##### 4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

今年度も、計画通り各グラントの選考を行うことができた。

学内グラントに関して、「丸木記念特別賞」は「長年に渡る、複数の業績に裏付けられたストーリー性を持つ研究テーマ」で、かつ「その主要な成果が本学における研究活動で得られたもの」を対象とする。これらに重点を置いた選考を行った結果、本年度は2課題に授与することとした。学内グラント「科研費申請支援」は、科研費不採択課題の中で、本学を研究機関として科研費採択を目指す課題を対象とする。科研費アドバイザーによる学内グラントとしての適否評価を基に、17件をA評価、3件をB評価として採択した。学内グラント「科研費採択奨励費」は、過去2年以内に学内グラント「科研費申請支援」の助成を受けて科研費に採択された課題は申請0件であった。

埼玉大学との共同研究は、3年間継続して支援を受けた7課題が研究満了となった。そこで、令和7年3月22日に、埼玉大学において共同研究成果発表会をハイブリッド形式で開催した。本発表会は、両大学の研究者だけでなく、一般の方にも公開された。

この他、財団等への応募に関する学内選考3件を行った。いずれの選考も、厳格に審査された。

##### 4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

次年度も、学内外の研究費を獲得して本学の研究活動を活性化するため、医学研究センター研究支援管理部門、及び庶務課と連携しながら、グラントの厳格・公平な選考が継続されるよう務める。令和7年度は、本学が主催して埼玉大学との共同研究成果発表会を開催予定となり、今後、詳細を検討する。来年度は、埼玉医科大学創立50周年記念特別研究費の最終年度となる。採択された4課題の研究成果報告会を、令和7年11月8日に開催予定の「第6回オール埼玉医大 研究の日」の前日（11月7日）に、医学研究センター創立20周年記念シンポジウムと共同開催の予定である。